

日本YMCA同盟

THE
YMCA

The Young Men's Christian Association News

10

No.810 2021

2021年10月1日発行（毎月1日発行）
1947年10月27日 第三種郵便物認可
本体価格45円（外税）（送料63円）
発行／公益財団法人 日本YMCA同盟
〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町2番11号
Tel 03-5367-6640 Fax 03-5367-6641
URL : <https://www.ymcajapan.org/>
発行人／田口 努 編集人／横山 由利亜

YMCA



OPINION

「つながる」とは

盛岡YMCA総主事 濱塚 有史

「みつかる。つながる。よくなっていく。」は、日本のYMCAが約束するブランド価値です。その中の「つながる」について考えてみました。この10年間の急速なSNSの普及もあり、私たちはこの言葉をよく耳にするようになりました。しかし、フォロー数や動画の再生回数を増やすことが本当の意味で「つながる」ことなのでしょうか。ひねくれた考えかもしれませんが、私は「一人になれない人はつながれない」と思ってしまうのです。

YMCAは「出会いと気づき」の場であるとよく言われてきました。「出会い」の場を提供する団体はよくありますが、「気づき」まで踏み込んでいる団体はそう多くはありません。YMCAは集うことと同様に、実は一人になることもとても大切にしているのです。もちろんここで言う一人とは、誰にも会わないことではなく、自分と対峙することを意味しています。

盛岡YMCAに集うボランティアリーダーはキャンパー一開催するにしても、何度もミーティングを重ね準備をしていきます。その中で、意見や考えの相違が生じ、リーダー同士気まずい関係になることもしばしばです。また、そのように時間をかけて準備しても、必ずしも全ての子どもたちが満足する結果になるわけではありません。こうした経験を通してリーダーたちは、否が応でも自分に向き合うことになるようです。ふりかえりのミーティング終了後、落ち込んで頭を抱えながらぼつんと座り込んでいるリーダーを何人見たことでしょうか。しかし大抵の場合、仲間や先輩リーダー、担当スタッフに励まされたのか、次の活動時には恥ずかしそうな笑顔を見せながら参加してくれる場合がほとんどです。彼らの学生生活は、自分の心の奥の奥に向き合うことによって逆に外に開かれていく4年間と言っても良いでしょう。そんな若者たちを通して私は「一人になれない人はつながれない」といつしか、考えるようになりました。

一人になることは、つらく、寂しいことです。しかし、YMCAにはそんな一人を見守ってくれる誰かが必ずいます。自分は気づかなくともいつのまにかそばにいてくれる何かが確かに存在しています。その意味でYMCAは安心して「一人になれる」人たち、6,500万人がつながっていく世界最大のプラットフォームとすることができるかもしれません。

（日本YMCA同盟ユース委員会担当総主事）

What's
Your
YMCA
Vision?

全国YMCAユースチャレンジ2021

日本YMCA同盟ユース委員会の行う「全国YMCAユースチャレンジ」は、YMCAに関わりのあるユースを主体とした企画の募集・審査を行っています。選定した企画に対し、助成および企画運営のためのアドバイスなどのサポートするプログラムです。対象となるのは、以下のいずれかの内容のユース発案の企画です。

地域・国際レベルでの
社会貢献活動

YMCA関係者を対象とした
啓発活動

YMCAの理念に適う
新しい発想の活動

このプログラムは、主体的に、創造性をもって、社会や地域に貢献をしたいと願うユースの想いを実現する手助けをするために構想されました。ユースがYMCAを新たなチャレンジもできる場として理解し、YMCAの持つリソースやネットワークを活用していくきっかけになればと願っています。



自分の「ことば」を自由に語り合うユースたち

2021年2月、日本YMCA同盟のユースチャレンジのプログラムとして助成金を得て「第1回山梨ユースリーダーシップフォーラム」を開催しました。その際に立ち上がった山梨県内の大学生からなる実行委員会「My C.」は、現在様々な形で地域に根差した活動を行っています。

今年の夏は、核兵器禁止条約の日本批准を求める山梨県民集会への参加、甲府YWCA主催のピースフェスタにてYMCA学童の子どもたちに向けたワークショップの実施、まちへ出かけて平和のメッセージを書/描いてもらうアートな署名活動「平和アートin甲府」、YMCAの近所のお総菜屋さんのおじいさんから伺った甲府空襲体験の聞き書きなど、平和をテーマにしたさまざまな活動を行いました。豊かな出会いの中で受け取った平和の想いを、ユース自身が自分のことばで、今度は子どもたちに伝えていく、そんな世代間の平和のバトンが渡されていました。「みんなのありのままの姿が大切にされ、自分のことばを自由に語り合える場を作りながら、社会のさまざまな問題について学んで、行動していきたい」。そんな思いでMy C.は第2回ユースリーダーシップフォーラムを企画中です。

山梨YMCA 福田 奈理子



「学び」と「出会い」の化学反応を起こすプラットフォームに

若者のエンパワーメントが注目されるということは、裏を返せば今の若者が社会に対し委縮しているということかもしれません。現に、失われた30年と言われ、少子高齢化、政治不安、非正規雇用の増加等々、社会に対し希望を持てるようなニュースはあったでしょうか。私が生まれたのは1996年ですが、今に至るまで景気は低迷しています。さらに昨年からは猛威を振るう新型コロナウイルスは学生から社会を知る機会を奪い、経済的貧困は広がっています。

「書を捨てよ、町へ出よう」とは、寺山修二の残した名言です。現実には書物の中ではなく人々が生きている街の中にある、自分の夢・理想を書物の中に見出すのではなく現実の中に見出していかうではないか、という意味です。私にはこれに加えて、「恐れを捨てよ、町へ出よう」と言いたいです。若者には今後の日本を変えていく力があります。しかし、そのことに気づいている人がどれくらいいるのでしょうか。

このような時こそ学ぶ機会が必要です。学生YMCAでは9月18日～19日、「アフターコロナをどう生きる」をテーマに、全国学生YMCA夏期ゼミナールを行いました。単に、座学ではなく、社会問題を知ることや仲間と議論すること、人間関係の中で気づくことも学びです。一人でも多くの若者が、自分の可能性を信じ、仲間と出会い、一歩を踏み出す勇気を持つ。学生YMCAが取り組む夏期ゼミナールや聖書研究会も、そのきっかけとなれば良いと考え、試行錯誤しながらオンラインで継続しています。そして、「学び」と「出会い」の化学反応を起こすためのプラットフォームになることがYMCAの役割であり、エンパワーメントそのものであると考えます。学生YMCA共働スタッフとしてそのプラットフォームの充実に力を注ぎたいと思います。

学生YMCA 鶴木 康平(熊本大学YMCA)

社会の回復に応えるYMCAを目指して

全国YMCAスタッフ研修

日本YMCA研究所(所長:田口努)では、全国34の都市で働きを担っているYMCAスタッフ4,000名が、時代の変化や社会課題に素早く対応できる力を身につけるための学びの場を提供しています。社会が大きく動いている中で、それぞれの地域に存在する社会課題をいち早くとらえ、これからの社会の回復に応えられるYMCAとなることを目指して、学びの内容(カリキュラム)や学び方(対面とオンラインの併用など)の刷新を続けています。日常的に子どもが集う現場での具体的な感染症対策、人と関わる機会の多いYMCAスタッフのためのストレスマネジメントなど専門家による科学的根拠に基づく学び、気候変動と再生エネルギーの活用、ダイバーシティ&インクルージョンの推進、テクノロジーを取り入れた教育や地域活動など、その領域をリードしている国内外のリソースパーソンを講師に迎えて展開しています。職制や役職、所属YMCAの垣根を超えて、同じ時間に同じ学びができる機会も増やしています。

YMCAは170年を超える歴史の中で、揺らぐことなく一貫して高い優先度で人材養成に取り組んでいます。日本YMCA研究所ではこれからも、地域社会や人々の周りにある小さな課題を見過ごすことなく、自信を持って行動し、新しい価値の創造に果敢にチャレンジする働き人を養成していきます。

地域を問わずオンラインで、同じ学びができることがありがたい。

受講生の声

各YMCAごとでは難しい組織運営や人材育成等も今後のオンライン研修で実施できると良い。



対面と同じように小グループで協議ができ、仕事の活力につながった。

一般財団法人日本宝くじ協会から 助成金交付

日本宝くじ協会より助成金の交付を受け、集会用テント37張、宿泊用テント20張を購入しました。このテントは全国19YMCAのキャンプ場や幼稚園・保育園等に贈られ、キャンプや野外での青少年育成活動、バザーや運動会等地域の方々を招いた行事、災害などの非常時の支援活動等に用いられます。



とちぎYMCAの川遊びプログラム



神戸YMCAの地域ふれあい運動会

2021年度世界YMCA/YWCA合同祈禱週

世界YMCA・YWCAでは、11月の第2週目の日曜日からの1週間を合同祈禱週として、毎年一つのテーマをもとに、聖書からのメッセージを聴き、祈りを共にするときとして定めています。今年は以下のテーマのもと、祈りを合わせます。

テーマ: "Beauty from Brokenness"
「壊れやすさから生まれる美しさ」
(仮題)

日程: 2021年11月7日(日)～13日(土)

